

人権週間の取組を行いました

12月7日（水）に行われた「人権集会」から12月14日（水）にかけて1週間、各学年に応じた内容で様々な角度から「人権」について考える機会がありました。

「人権」とは・・・一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利

人が人として、その社会の規範のなかで自由に考え、自由に行動できる権利

「人権週間」とは・・・自分も友だちも一人ひとり違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることを考える一週間

「人権集会」の中では、校長先生からのお話や5年生の「人権ポスター」、4年生の「人権標語」の発表がありました。また、12月8日（木）から5日間、お昼の放送で6年生が「人権」についての作文を読みました。1年生から6年生まで、全校児童が「人権」について様々な考えや思いを見たり聞いたりして良い学習の機会になったと思います。一人ひとりが自分も友だちも大切にできるようになってほしいと願っています。

「人権」について学び、考え、思いを込めた様々な作品を少し紹介します。

【4年生：人権標語】

ありがとう その言葉だけで 幸せだ	幸せは やりたいことが できること	へいわとは みんなが わかる やさしさだ	差別なく 人を大事に 世界も大事に	しあわせの花 いろいろな花の色 たくさん育つ
-------------------------	-------------------------	-------------------------------	-------------------------	------------------------------

【5年生：人権ポスター】



「差別という問題に向けて」

世界には差別を受けて、心が苦しくなっている人がたくさんいます。人種差別といった差別がたくさんされています。でも、自分には関係ないと思っていませんか。みなさんもこの人と関わりたくないとか、この人は嫌いだからとかで、友達と同じ対応をしてしまっていることはありませんか。ぼくは、そんな差別が気になったので、その中でも人種差別について調べました。

人種差別とは、人種が違うということを理由に差別をすることです。では、どうして人種差別が起こるのでしょうか。それは、偏見など意識的にある相手への不理解であるといえます。偏見とは、偏ったものの見方や考え方をいい、「思い込み」や「決めつけ」と言いかえることもできます。この「偏見」や「固定観念」「世間体」を気にする意識などが表現や行動として外部に現れることによって起きてしまうのが「差別」の問題です。・・・

・・・自分たちでも、ちょっとした差別が行われているかもしれません。差別を無くすために自分たちができるのは相手のことをよく理解することだと思います。

差別が無かったら不平等がなく、みんなが安心して暮らせるような世の中になると思います。理不尽な理由で人の体を傷つけたり、ちょっとした思い込みで人の心を傷つけたりすることがない世の中になってほしいと強く願います。

「つながり」

助け合いという言葉聞いてどの様なことを考えますか。・・・

・・・私が見た助け合いは、車いすの人を助ける姿でした。・・・

改めて車いすで生活している人のことを考え、日々の生活に生かしていきたいと思いました。自分から積極的に助け合いをすることで、その行動がどんどん広がっていき、助けてもらった人も、それを見ていた周りの人も助け合うことの大切さに改めて実感し、「助け合う」ということを深く考えていけると思います。・・・

「人との関わり」

みなさんは、地域の人や家族や友達にあいさつをしていますか。・・・

・・・あいさつをすると、人との関わりが気持ちよくなると思います。だから、お世話になっている人、地域で見守っている人、友達、家族、習い事のときにあいさつをしてほしいです。けれど、言うだけでは意味がないので、お礼を伝える意味でもあいさつをしたほうがいいと思います。そして、伝えるときは笑顔で・・・

「三つのことば」

「しんゆう」と聞いて、みなさんはどんな人を思いうかべますか？毎日遊んでいるクラスの友達、小さい頃から仲良しの友達、気の合う友達、いろいろなかたちの「しんゆう」があると思います。私は「しんゆう」ができて、安心感と心の余裕を持てるようになりました。お互いに信じあっていつも心の支えになっている「心友」です。

私は、「心友」のおかげで大切な三つの言葉を学びました。それは、『感謝の言葉』『思いやりの言葉』そして、『自分が言われてうれしい言葉』です。これらを使うだけで毎日気持ちよく過ごせて、みんながよりよい学校生活を送れると確信しています。・・・

・・・さりげなく言った一言で誰かが傷ついてしまうこともあります。それは、無意識のうちに誰にでもありえることだと思います。友達と話すときは、人を傷つけない言葉を選んだり、気配りをしたりすることが大切だと思います。相手の気持ちを考えれば、そのときの行動や言葉使いも変わります。・・・

・・・人は、言葉一つで嬉しくも悲しくもなります。言葉をうまく使うことで私の家族や友達を幸せにできるんだと気付きました。

「人への思いやり」

ぼくは、今までなぜあいさつをしないといけないのかと思っていました。でも今は、あいさつは人に思いを伝えるものであることに気が付きました。・・・

・・・これから、みんながあいさつを当たり前できるように、自分からすることを大切にしていきたいです。あいさつをすると、仲良くなったり、相手のことを考えて思いやりの気持ちが生まれたりします。あいさつが苦手な人も、勇気をだしたら相手の人が喜んでくれるかもしれません。みなさんも日常であいさつをしていて、思いやりをつなげていきましょう。



どの学級も、人権の取組発表を真剣に聞いていました。

思いやりのあふれる、あたたかい心の子もたちでいっぱい長五小になったらとても素敵ですね！

